

水力発電所等建設工事業における労働災害発生状況（1999-2022年）

水力発電所等建設工事業 コードNo.030101

水力発電所等建設工事業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	13	9	12	10	7	5	5	3	10	5	5	3	8	3	3	7	5	3	2	6	8	4	6	8	150
転倒	8	6	4	6	3	2	3	2	2	1	2	2	2	2			1	7	3	1	1	2	2	2	64
激突	3	2		1	1		1		1	1	3		1	2					2	3					21
飛来・落下	6	5	3	4	3	5	5	3	4	3	1			3	1	4	2	2	2		2	2	3	1	64
崩壊・倒壊	2	2	4	1	2		2			2	2	1		1	3		1	1	1	1	1				27
激突	3	2	3	4		2	2	1	2	2	5	3	4		1	3	3		1		2	1	2	5	51

物との接触	1		1			2				1				1				1			7		
感電		1																			1		
爆発																							
破裂																							
火災																							
交通事故 (道路)	2	1	1	1		3	2	2	2	4	2	3		1	1	1		1	1	2	1	31	
交通事故 (その他)											1											1	
動作の 反動無 理な 動作		1		1	2	1		1	2	1				1	1	2			3		1	1	18

物、建築物、構築物等	14	8	11	9	5	7	7	3	6	3	6	2	4	7	1	5	3	6	3	7	2	3	5	5	132
物質、材料	3	6	2	5	3	3	5	4	2		2			1	4	2	5	1	1	2	4	2			57
荷	1			1			1	1	1		1		1		1			1	1						10
環境等	4	1	6	3	1	2	3	1	4	6	4	6	2	1	2	1	3	2	1	1	3	2	2	2	63
その他		1	1	1	1	1				1	1		1		1	1	2			2	1	2	13	1	31
合計	44	33	40	37	23	23	26	22	25	26	30	17	25	17	12	21	22	20	14	22	22	23	34	23	601

水力発電所等建設工事業における起因物（中）別労働災害発生状況（1999-2022年）

起因物 （中）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
原動機																										
動力伝導機構			1							1																2
木材加工用機	1		3	1				1			1	1											2	1		11

の木材 加工用 機械																										
整地・ 運搬・ 積込み 用機械			1		1			2				1						1		1				7		
掘削用 機械			2		2			1			1	3	2	1			2		2	1				2	19	
基礎工 事用機 械																2				1					3	
締固め 用機械																										
解体用 機械								1								1		1						2	5	
高所作 業車																				1					1	
その他 の建設 機械等			3		3			2			2	1	1	1	2	1		1	1				1		2	21

機、粉 砕機																								
ロール 機（印 刷ロー ル機を 除 く。）																								
射出成 型機																								
食品加 工用機 械																								
印刷用 機械																								
産業用 ロボッ ト																								
その他 の一般 動力機			1				1	2		1	1			1	1						1			11

フト																								
揚貨装置																								
ゴンドラ																								
機械集材装置、運材索道																								
簡易架線集材装置																								
その他の動力クレーン等												1							3					4
トラック				2		1	1	3	3	3		4	3		1	1	1		1	2	2	3	1	32
フォークリフ																1								1

合掌																										
作業 床、歩 み板			1		1										1										4	
通路			3				2	1	2	2					1				2	1	1		1		2	18
建築 物、構 築物			1		3		2	1			4			2	1						2	2		2	1	22
その他 の仮設 物、建 築物、 構築物 等			1				1	1		1	2			1	1				2		1		1			12
爆発性 の物等																										
引火性 の物																										
可燃性 のガス																										
有害物								2										1								3

放射線																								
その他の危険物、有害物等				1																1				2
金属材料			1	1		4	1	2		1				2	1	3	1	1	1	2	1			22
木材、竹材							1			1									1	2				5
石、砂、砂利			1	1			1						1			1								5
その他の材料															2	1								3
荷姿の物								1	1		1		1				1	1						7
機械装置							1																	1
地山、岩石			5	1		1		3	6	1	2		1	2	1	3	1			1	1		1	30

立木等							1				1	2						1				1		6	
水													1						1	1				3	
異常環境等												1												1	
高温・低温環境			1										1									1		3	
その他の環境等							1	1	1		2	1						1		1	1		1	10	
その他の起因物																					2	12	1	15	
起因物なし			1		1				1	1					1	1	1			2	1		1	11	
分類不能													1				1							2	
合計	44	33	40	37	23	23	26	22	25	26	30	17	25	17	12	21	22	20	14	22	22	23	34	23	601

水力発電所等建設工事における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
9人以下	11	15	10	13	10	11	14	10	7	12	11	8	6	4	6	11	9	7	10	12	10	8	15	10	240
10人-29人	19	11	19	15	8	6	8	6	12	9	13	8	12	8	4	7	6	5	3	8	11	8	8	7	221
30人-49人	4	5	6	1	1	2	1	4	5	1	4	1	3	2	2	1	5	6	1	1	1	3	7	2	69
50人-99人	3	2	3	5	3	3	2		1	1	1		3	3		2	2	1		1		2	2	3	43
100人-299人	6		2	2	1	1	1	2		1	1		1					1				1	2	1	23
300人以上	1			1						2												1			5
合計	44	33	40	37	23	23	26	22	25	26	30	17	25	17	12	21	22	20	14	22	22	23	34	23	601

水力発電所等建設工事業における月別労働災害発生状況（1999-2022年）

福井													1						1	1				3	
山梨		1					1				1					1								4	
長野	2				1		2						1			1		1	1		1		1	11	
岐阜		1	3				2	2	3	1	2		2				1	2				2		21	
静岡	2	6	2		2		2	2		1	1				2					4			1	25	
愛知		2							1	1	1			1	1	2		1	2	1	1		1	2	17
三重										1			1		2	3		1						8	
滋賀			1		1				2															4	
京都	1									2		1				2				1				7	
大阪								2	1			2	1			2					1			9	
兵庫	1	1	2													1			1				1	2	9
奈良					2							1	1					1		1			2	8	
和歌山		1			1											1								3	
鳥取	1		1									1	1											4	
島根												1								1			1	3	
岡山		3	2		1						2									1				9	
広島	1		1						1	2							1		2	1				9	
山口		1	1		1				1				1								1	1		7	

徳島									1	2							2			1				6	
香川	2	1	1									1						1			1			7	
愛媛	1										1			1						1				4	
高知							2		2	1	2				1									8	
福岡	3		1							1	1		3	2		1	1	3						16	
佐賀		1					1	1			1	1											1	6	
長崎								1									1							2	
熊本	1		2					1		1		1	1	1			2	1	1	1		1		14	
大分	2	1			1					3	1						1		1	1	2	5	2	2	22
宮崎	1	3	3		2								2											11	
鹿児島	1		1										3		1	1	3				1	1	1	2	15
沖縄		1					1																	2	
合計	44	33	40	37	23	23	26	22	25	26	30	17	25	17	12	21	22	20	14	22	22	23	34	23	601

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

交通事故（その他）																									
動作の反動無理な動作																									
その他																							1	1	
分類不能																									
合計	1	1			1	2		1		1	1	1	3	1	2	2	2	2		2				3	26

水力発電所等建設工事業における起因物（大）別死亡災害発生状況（1999-2022年）

起因物（大）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
動力機械													1			1		1							3
物上げ装置、	1							1				1	1					1	1						6

運搬機 械																							
その他 の装置 等																						1	1
仮設 物、建 築物、 構築物 等					2				1	1	1	1	1	1			1					2	11
物質、 材料													1										1
荷																							
環境等	1			1					1										1				4
その他																							
合計	1	1		1	2		1		1	1	1	3	1	2	2	2	2		2			3	26

水力発電所等建設工事における起因物（中）別死亡災害発生状況（1999-2022年）

起因物 （中）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合 計
------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------

備																								
仮設 物、建 築物等					2					1		1	1	1	1	1			1				2	11
危険 物、有 害物等																								
材料														1										1
荷																								
自然環 境等		1			1					1										1				4
その他 の起因 物																								
起因物 なし																								
分類不 能																								
合計	1	1			1	2		1		1	1	1	3	1	2	2	2	2		2			3	26

能																									
合計	1	1			1	2		1		1	1	1	3	1	2	2	2	2		2				3	26

水力発電所等建設工事における年齢別死亡災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
19歳以下													1												1	
20歳-29歳						1									1										2	
30歳-39歳																		1		1					2	
40歳-49歳	1	1								1		1	1	1		2				1				1	10	
50歳-59歳						1		1					1		1		2								1	7
60歳以上					1							1							1						1	4
合計	1	1			1	2		1		1	1	1	3	1	2	2	2	2		2				3	26	

水力発電所等建設工事における死亡者規模別死亡災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下					1	1				1		1	1		1	2	2			2					12
10人-29人	1					1		1			1				1									1	6
30人-49人		1												1				2							4
50人-99人													1												1
100人-299人													1											1	2
300人以上																								1	1
合計	1	1			1	2		1		1	1	1	3	1	2	2	2	2		2				3	26

水力発電所等建設工事における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

徳島																									
香川																									
愛媛																									
高知																									
福岡																									
佐賀																									
長崎																									
熊本											1													1	
大分																									
宮崎						1																		1	
鹿児島																									
沖縄																									
合計	1	1			1	2		1		1	1	1	3	1	2	2	2	2		2				3	26

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

水力発電所等建設工事における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の型	労働者規模
2018	2	8 ～ 9	ダムの利水放流設備点検用ゲート設置工事のため、潜水したところ放流管に流れ込む水に流され死亡した。	水	おぼれ	1～ 9
2018	4	16 ～ 17	風屋ダム取水口ゲートでつり足場の撤去作業中に階段枠を取り外したところ、バランスを崩し、取り外した階段枠とともに、約2.3m下の水面へ墜落した。被災者は、水面より約16m下の位置で発見され、引き上げられたが、搬送先で死亡した。被災当時、保護帽、安全帯、安全靴、革手を着用していたが、ライフジャケットは着用していなかった。	足場	墜落・ 転落	1～ 9
2016	9	10 ～ 11	建設工事現場で土砂搬出のためダンプトラックで下り勾配の林道を走行中、幅員3mの左カーブでタイヤが路肩から外れ、ダンプトラックと共に崖下に転落した。	トラック	墜落・ 転落	30 ～ 49
2016	10	11 ～ 12	調査ボーリング工事において、ボーリング調査に使用していたスキッド型ボーリングマシンのシリンダー部チェックバルブから油漏れが発生したため、被災者1人で修理をしていたところ、ガイドセルが降下し、ガイドセルとベース架台の間に頭部と右肩部を挟まれた。	その他の建設機械等	はさまれ 巻き込まれ	30 ～ 49
		11	敷鉄板（幅1.5m、長さ6m、厚さ2cm、重さ1.6t/枚）13枚の撤去を行うため、移動式クレーンを用いて20t級の重ダンプの荷台上で積込作業を行っていたところ、荷台が起き上がり、荷台上の作業員が飛ばされ、ずり落	トラック	墜	1～

2015	2	～ 12	ちた敷鉄板上に転落した。ドクターヘリで病院へ搬送されたが、約12時間後に死亡した。被災者は保護帽を着用していたが、墜落時には外れていた。	ク	落・ 転落	9
2015	10	10 ～ 11	足場4層目作業床（高さ約7m）で建枠を取り付けるに当たり、建枠の一方（外側）を下層建枠のジョイントに差し込み、もう一方（躯体側）をジョイントに差し込もうと建枠の下部を押し広げていたところ、先に差し込んだ建枠がジョイントから外れ、勢い余って躯体側に墜落した。足場作業床の外側には安全带取付設備（手すりわく）が設置されていたが、被災者は安全带を使用していなかった。	足場	墜 落・ 転落	1～ 9
2014	1	10 ～ 11	注水工設備（農業用水）の水槽建屋にて、コンクリート内壁の防水工事中、農業用水路入口付近で容器に水を汲んでいたところ、下り勾配の水路内（水が入っている状態）に誤って転落した（高さ約11m、長さ約15m、勾配約43度）。捜索の結果、水路内の底部で死亡している被災者が発見された。	建築 物、構 築物	おぼ れ	1～ 9
2014	3	13 ～ 14	放水塔下部の水門の戸当りの塗装中、上昇してきた水門の扉体と戸当りの間に頭部を挟まれた。	その他 の一般 動力機 械	はさ まれ 巻き 込ま れ	1～ 9
2013	8	9 ～ 10	発電所建屋の解体に伴う測量作業を行っていた際、被災者は、発電機撤去後の開口部（地下2階までの深さ12m）から墨の位置のまでの計測のため、スチールテープを持って開口部付近に立入ったところ、当該開口部より地下2階に墜落し死亡した。尚、当該開口部の周囲には鋼管製の転落防止柵が設けられていたが、被災者は当該柵の扉を開けて開口部付近に立入った。	開口部	墜 落・ 転落	1～ 9
2013	11	16 ～	ダム洪水吐ゲートの扉体を取り替えるため、解体した扉体（重量約4t）をケーブルクレーン（つり上げ荷重6.6t）で左岸側にある仮置き場に降ろした。玉掛用ワイヤーロープを取外すため、クレーンフックを下げ同ワイヤーロープを緩めたところ、解体した扉体が倒れ、脇にいた被災者に激突し、扉体と仮置き場に設置されていた手すりに頭部を	金属材 料	崩 壊・	10 ～

		17	挟まれた。尚、被災者は玉外しをするために扉体脇を移動していたと推測される。		倒壊	29
2012	10	1 ～ 2	高所作業車を使って鉄骨の組み立て作業中、災害発生現場にあった開口部養生蓋に付けられていた単管パイプが、高所作業車の停車位置と重なり、作業の障害となっていたため、当該高所作業車操作者は開口部養生蓋をずらして作業を行っていた。被災者は当該高所作業車の操作者に工具を借りるため近づいたところ、開口部より約9m墜落し死亡した。	開口部	墜 落・ 転落	30 ～ 49
2011	4	14 ～ 15	河川改良工事（総延長15m、高さ約1.8m、河川兩岸のブロック壁設置）において、バックホー（総質量3.24t、バケット容量0.09）を使用して、コンクリートホッパー（容量0.3m ³ ）をワイヤ吊りし、河床へ下ろしていたところバックホーが転落し、河床にいた満15歳の労働者の背部にアームが激突、下敷きになり死亡したもの。	整地・ 運搬・ 積込み 用機械	飛 来・ 落下	1～ 9
2011	3	18 ～ 19	120tクローラクレーン操作者が立坑内（深さ35m）に吹付用コンクリートホッパー（重量4.3t）を荷降ろししていたところ、被災者が坑内にて高さ1.5mの吹付機械の上へ、据付はしごを昇っているところで、荷と吹付機械に、激突されて被災した。被災者本人がクレーン操作者と無線機を使用して荷降ろし作業を行っていた。無線での通話状態は明瞭であった。	移動式 クレー ン	激突 され	50 ～ 99
2011	12	14 ～ 15	ダム吐水ゲート取替工事において、被災者2名が、H鋼にクランプ止めした単管の上に乗る、ボルト締め作業を行っていたところ、単管もろとも約6.0m下の作業構台に墜落したもの。	作業 床、歩 み板	墜 落・ 転落	100 ～ 299
2010	8	13 ～ 14	貨物自動車で道路を走行中、荷台に乗っていた被災者が荷台から転落したもの。	トラッ ク	墜 落・ 転落	1～ 9
		11	水力発電所の水路補修工事の際、型枠組立作業を行っていた被災者が、立ち入り禁止区域に進出し、作業場から約17m	建築		10

2009	2	～ 12	離れた最大深さ2mの貯水部に落ち溺死した。被災箇所は入場者教育等で立ち入り禁止を指示されており、進入口には、パイプサポートや単管が積んであったが、被災者はそれらを乗り越えて進入した。被災箇所は照明等がなく、何も見えない状況であった。	物、構 築物	おぼ れ	～ 29
2008	6	8 ～ 9	法面にモルタル吹付作業を行うための準備作業を行っていたところ、震度6の地震が発生し、被災場所の上方で土砂崩壊が発生して落ちてきた岩石が被災者に当り死亡した。	地山、 岩石	崩 壊・ 倒壊	1～ 9
2006	6	14 ～ 15	4 t ダンプにてダム工事現場から土砂搬出のため県道を南下中、別の4 t ダンプと鉢合わせのため、待避所まで後退しようとしたところ、誤って県道からダンプごと約18m下の川まで転落した。	トラッ ク	墜 落・ 転落	10 ～ 29
2004	5	～ 16	15 骨材プラントに設置してある砕石ダスト貯蔵コルゲートビン（鋼製の円筒形のタンクで直径5m、高さ4.9m）内で、被災者が1人で同ビン底部の排出ゲートから砂岩の砕石ダストをスコップを使用して排出する作業を行っていたところ、貯蔵していた砕石ダストに埋没した。	建築 物、構 築物	墜 落・ 転落	10 ～ 29
2004	11	11 ～ 12	垂直に立っているダム取水管の水密金具取り付けのため、管外周に組んだ足場上で作業中、足場とダム提体とのすき間から8.5m下に墜落した。	足場	墜 落・ 転落	1～ 9
2003	12	11 ～ 12	ダム堰堤の修繕工事において、道路上に設置されたケーブルクレーンの運転席周辺で落石に激突されたクレーンオペレーターが倒れているのをダムの巡視をしていた森林組合員に発見された。	地山、 岩石	飛 来・ 落下	1～ 9
2000	1	10 ～ 11	ダム用の採石現場において、表土をドラグ・ショベルでダンプトラックに積込む作業を行っていたところ、上方約50mの高さから人頭大の岩石が崩落し、途中の法面でバウンドして数個に砕け、そのうちの1個(直径20cm)がドラグ・ショベルのフロントガラスを破って運転席に飛び込んできて左側頭部に激突した。	地山、 岩石	飛 来・ 落下	30 ～ 49

1999	7	4 ～ 5	原石山から材を46トン重ダンプにて運搬した帰り道、路肩ガードレールを突き破り約20メートル下に転落した。	トラッ ク	墜 落・ 転落	10 ～ 29
------	---	-------------	--	----------	---------------	---------------

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。